

「ホワイト物流」推進運動 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
東芝ロジスティクス株式会社	取締役社長	佐藤 広明	神奈川県	物流サービス業	https://www.toshiba.co.jp/logi/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年7月29日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	ロジ・イノベーション活動として、東芝を始めとする各荷主と協力して、物流の効率化、ドライバ負担軽減施策について取り組めます。
2	A ②	予約受付システムの導入検討	トラックの予約受付システムを導入し、パースでの車両待機時間を最短にするように庫内作業の改善に取り組めます。
3	A ③	パレット等の活用	製品特性・諸元を考慮し、パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱、スチールコンテナ等を活用し、トラックの荷役・積載効率の改善に努めます。
4	A ⑧	出荷に合せた荷揃え・荷造り等	荷主からの出荷情報の精度向上を含め、出荷に合わせて荷揃え・荷造りをすることで、ドライバの待機時間の最小化に努めます。
5	A ⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	船舶や鉄道の輸送を活用することで、長距離トラック輸送の削減や環境負荷低減に努めます。
6	B ①	運送契約の書面化の推進	運送契約の書面化に継続して取り組めます。
7	C ①	契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮	契約する物流事業者を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
8	D ①	荷役作業時の安全対策	荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保等の対策を講じるとともに、事故が発生した場合の損害賠償責任の明確化を図ります。
9	D ②	異常気象時の運行の中止・中断等	台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼とならぬよう調整に努めます。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。
10	F ①	(独自の取組) 物流を考慮した製品/梱包設計の推進	荷主や他の物流事業者と協調し、パレットやトラック等に積んだ時、効率が最大になるような製品設計への提案に積極的に取り組めます。
11	F ②	(独自の取組) 港湾地区混雑の回避	輸入貨物の引き取り量平準化、輸入港の分散、近接港活用など、港湾地区混雑を回避し効率改善に取り組めます。
12	F ③	(独自の取組) 車両の着日・着時間の調整	現場サイトへの到着時刻が集中しないよう着荷主と到着日・時間の変更等を調整し、荷おろし待機発生防止に努めます。

PR欄	弊社は4PL(4th Party Logistics)としてロジスティクスのエンジニアリング・設計から、ロジリソース調達、保管・荷役・輸送などのオペレーションまでを一貫して展開し、持続可能で競争力あるトータル・ロジソリューションを提供しています。
-----	---